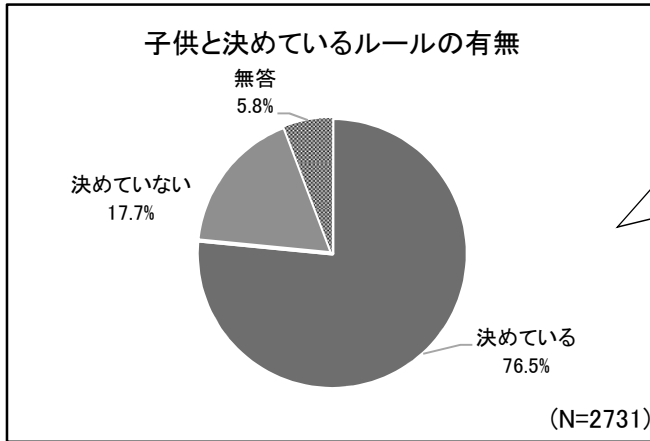
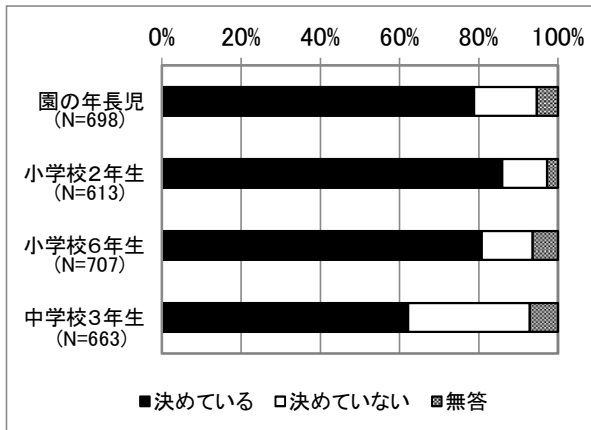


問38 生活習慣について、お子さんとルールを決めていますか。(スマホ、ネットに関するものを除く。)

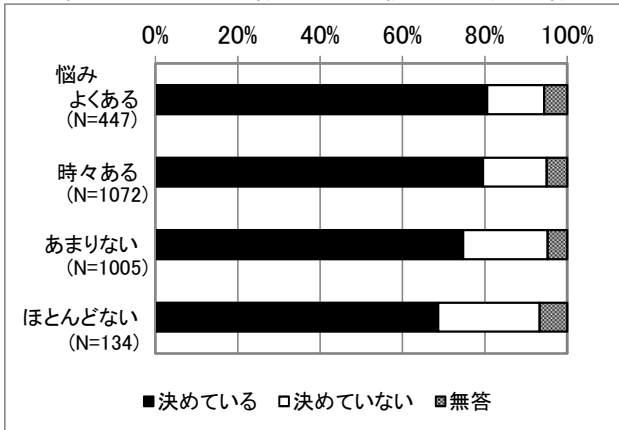


・全体の76.5%の保護者が、子供とのルールを決めており、17.7%が決めていないと回答している。

<子供とのルールの有無 × 学年>

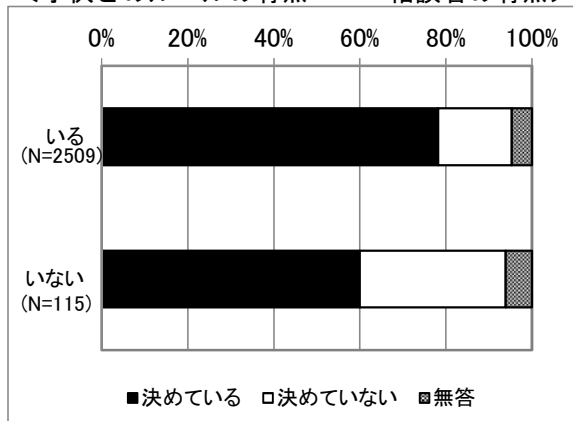


<子供とのルールの有無 × 悩みや不安の有無>

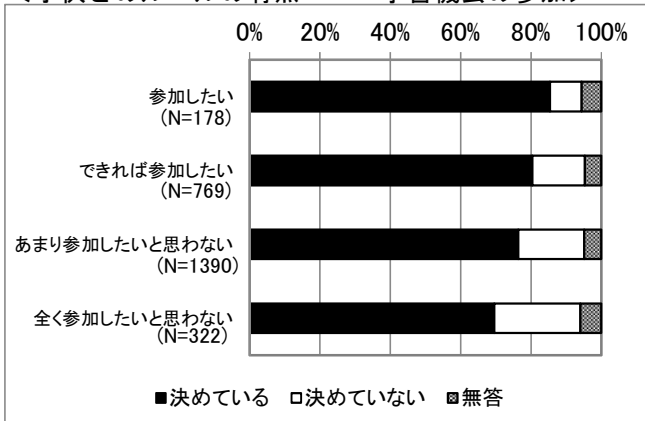


・学年が上がるにつれて、子供とルールを決めていない割合が高くなっており、中学3年生の家庭では特に約30%が決めていないと答えている。学年が上がると、子供の自主性に任せる部分が大きくなっていることが考えられる。年少の頃から親子でルールのなものについて話し合ったり、取り入れたりしておくことが大切だと思われる。  
 ・悩みや不安がある保護者ほど、子供とのルールを決めている割合が高い。

<子供とのルールの有無 × 相談者の有無>

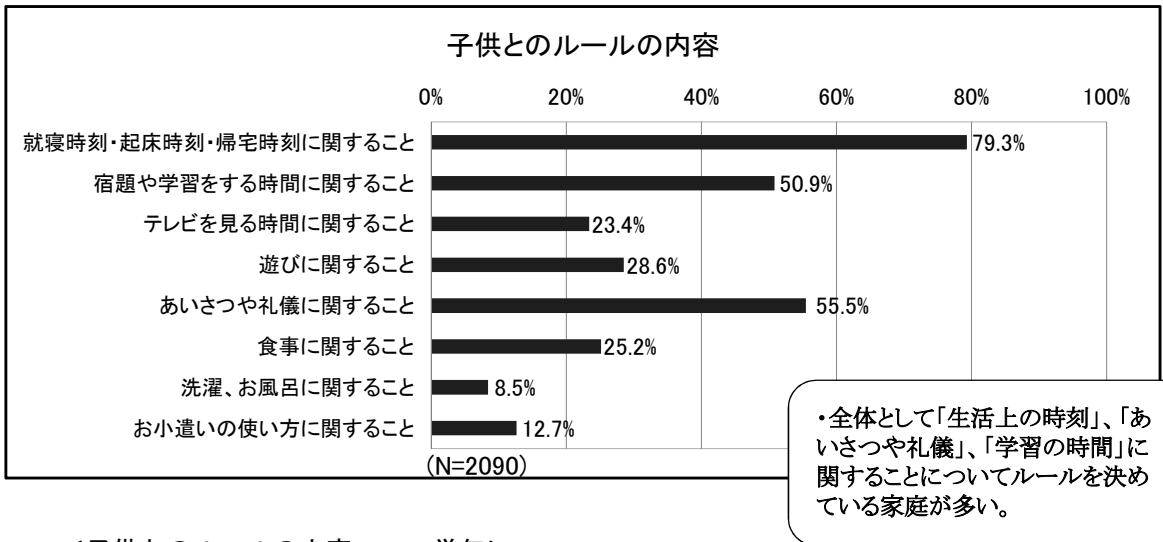


<子供とのルールの有無 × 学習機会の参加>

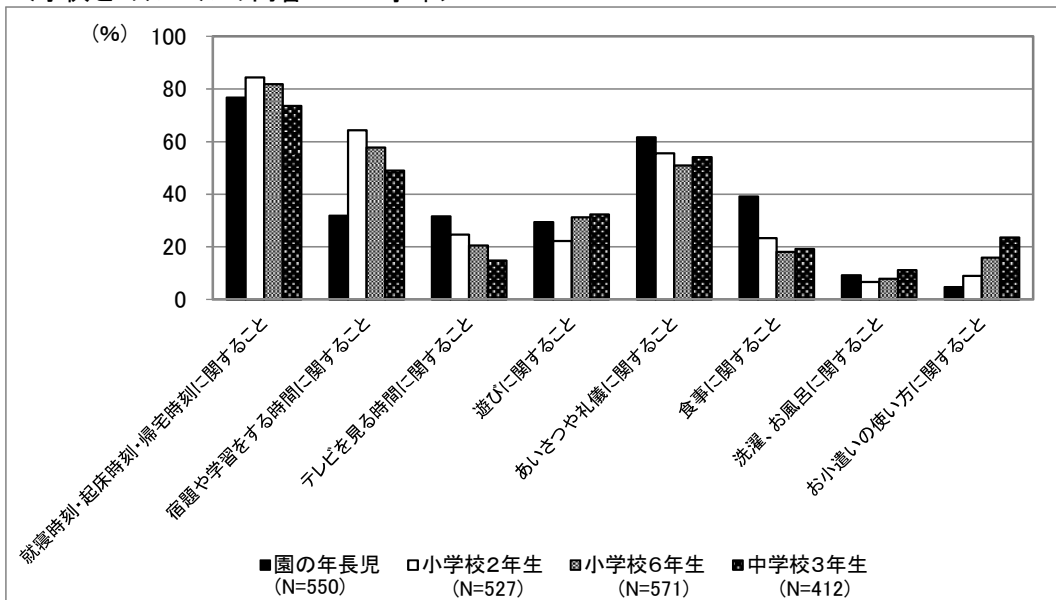


・相談できる人がいない保護者がルールを決めていない割合が高い。情報不足が原因とも考えられ、「ルールを決めること」の必要性についても啓発していく必要がある。  
 ・ルールを決めている保護者は学習機会への参加を希望している割合が高い。

問39～41 どのようなルールを決めていますか。(問38で「決めている」と回答した方、3つまで選択可)



<子供とのルールの内容 × 学年>



・小学校から中学校にかけては、学年が上がるにつれて、「時間」に関わるルールは減少しており、子供自身の自律的な判断に委ねるようになってきていることと考えられる。他方で、「遊び」や「お小遣い」に関わるルールは増加している。子供の生活環境や生活体験の変化に応じて、子供の自立を支えるようなルールの決定と運用が大切だと思われる。

【結果を踏まえて】

・子育てに悩みや不安を感じる要因の一つに、子供との会話の少なさが関係していることが推察される。その不安からルールを決めたり、学習機会への参加を希望したりする人が多くなっていると考えられる。このような悩みを抱えている保護者を対象とした学習機会や、同じような悩みを抱える保護者同士の交流の機会の提供を進めていく必要がある。